

## 24年プロ野球長野県出身選手の紹介

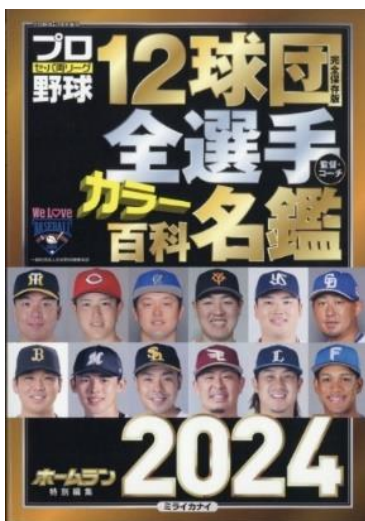
上原 昇（2組）

3月に入って関東地方はすっかり春めいてきました。

この時期になると、書店にプロ野球の選手名鑑がずらりと並びます。

子どもの頃からプロ野球ファンの筆者も、毎年必ず名鑑を買ってシーズン中、TV観戦時も必携しています。（最近プロ野球のTV放映は少なくなりましたが）

さて、今年も24年版を手にして、長野県出身の選手について調べましたので、以下紹介します。読者の皆さん、以下間違いやコメントなどありましたら連絡ください。



写真は今年全選手名鑑（ミライカナイ社）の表紙です。

以下は氏名、球団背番号、ポジション、在籍年数、年齢、出身地、出身校、入団経緯、コメントです。

- ◆高寺望夢（阪神 67、内野手、4年目、22歳、上田市、上田西高 - 阪神 21年 D7位）



昨季は一軍出場なし。上田西高出身ルーキーがプロ野球界に、今季はラストチャンスか

- ◆内田湘大（広島 63、内野手、2年目、20歳、小海町、利根商高、広島 23年 D2位）



昨季は2軍87試合に出場、今季は1軍を目指す。

- ◆牧秀悟（横浜 2、内野手、4 年目、26 歳、中野市、松本第一高－中大、横浜 21 年 D2 位）



昨季は打点王、最多安打王の 2 冠獲得、2 年連続ベストナインと大活躍、今季年棒 2 億 3 千万は 4 年目としては史上最高額、そして今季はチームのキャプテンに就任して、文字通りハマの若大将。首位打者を狙え。通算本塁打はあと 25 本で 100 号到達し最速タイとなる。

- ◆直江大輔（巨人 54、投手、6 年目、24 歳、長野市、松商学園、巨人 19 年 D3 位）



昨季は期待されながら勝ち星なし、今季は先発陣に入れるか正念場

- ◆笹原操希（巨人 009、外野手、3 年目、20 歳、長野市、上田西高、巨人 22 年育成 D4 位）



3 年目の今季は後がない、上田西の後輩がプロに入り負けられない。

- ◆赤羽由紘（ヤクルト 00、内野手、4 年目、24 歳、松本市、日本ウエルネス筑北高－信濃 GS、ヤクルト 21 年育成 D2）



昨季は 29 試合出場（4 安打、1 本塁打）、今季は更なる飛躍を。

- ◆権田琉成（オリックス 98、投手、1 年目、24 歳、長野市、上田西高－明星大－TDK、オリックス D7）



即戦力として期待がかかるルーキー、D1 の横山聖哉とは上田西の先輩後輩で負けられない。

- ◆横山聖哉（オリックス 34、内野手、1 年目、19 歳、上田市、上田西高、オリックス D1）



走攻守 3 拍子揃った高校 No1 遊撃手の期待は大

- ◆宮澤太成（西武 56、投手、1 年目、25 歳、長野市、長野高－北大－徳島 IS、西武 24 年 D5）



長野高出身では町田行彦（国鉄-巨人）以来のプロ野球選手

- ◆水上由伸（西武 69、投手、4 年目、26 歳、上伊那郡宮田村、帝京三高－四国学院大、西武 21 年育成 D5）



22 年新人王は昨季登板 23 試合 1 セーブのみと不本意、今季は挽回への奮起を期待

- ◇上田佳範（中日 86、打撃コーチ、51 歳、松本市、松商学園－日本ハム 92 年 D1）



高校時代は春の選抜甲子園で準優勝投手

（2024 年 3 月 1 日記）

以上